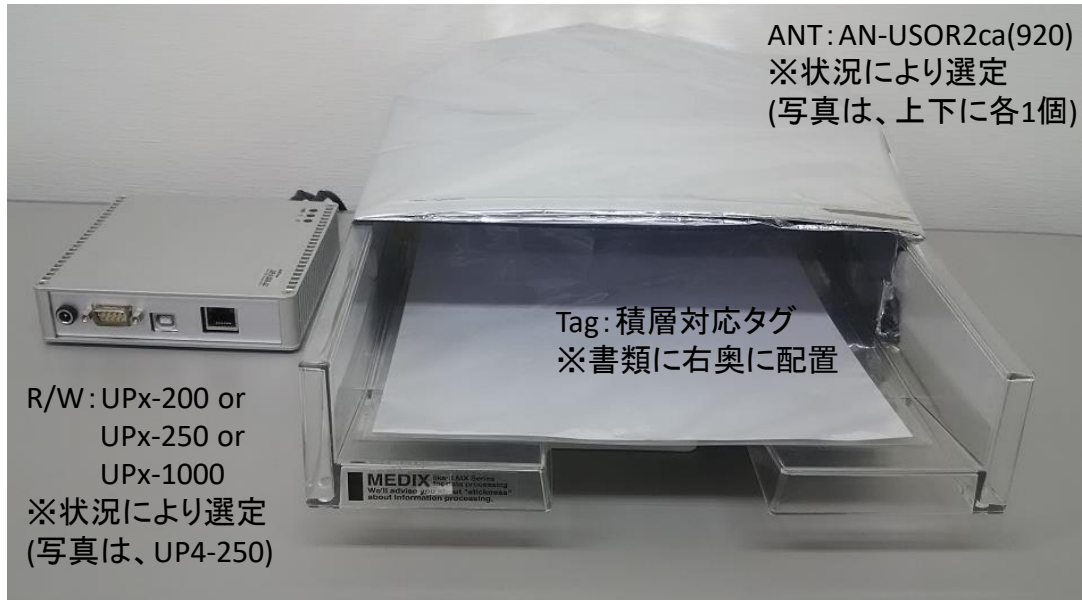


UHF帯RFID書類認識用機器 (積層状態対応書類用タグ使用)

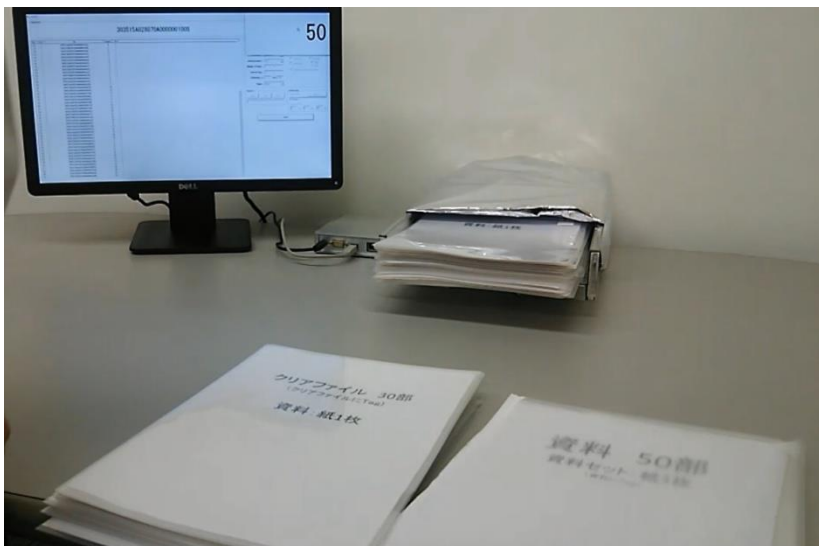
■ 書類認識用機器 (例)



【構成検討】

- ・運用時に取り扱う 書類セット を想定します。
(部数、書類枚数(厚み)、タグの取付方法:クリアファイル/書類、タグの取付位置 など)
- ・市販の書類ラックを用意し、タグ位置の 下/上/横 に、アンテナを仮配置します。
(必要に応じて、単箇所から複数箇所へ増やすなど、状況に応じて)
- ・周囲の書類のご認識防止(読取領域の特定)のため、電波遮蔽の工夫をします。
(推奨は、「アルミ温熱シート」にて、アンテナ、書類ラックを包むようにする。
電波遮蔽布の利用や、金属材料でカバー機構を製作するなども可能)
- ・認識検証により、用途への適用を判断する。
(AFXの評価用アプリケーション「ICタグライタ」の「GetID」メニューにおいて、
有効とするアンテナ、出力、セッションなどを設定し、複数書類の認識を状況を確認)
- ・運用は、静的な状態での認識のみでなく、書類の出し入れ時も認識するようにするのが良い。

■ 書類認識時 (AFX評価用APL「ICタグライタ」にて)



- ・クリアファイル50部
(クリアファイルに
書類用タグラベル)

- ・手前の書類は、
認識しない。

お問合せフォーム

E-mail : info@artfinex.co.jp



<https://artfinex.co.jp/>

株式会社アートファイネックス

RFID東京事業部

〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目7の4 晃永ビル 5F